



25国民春闘

通信労組ストライキニュース

2025.3.22

JMITU 通信産業本部

JMITU通信産業本部は3月12日のNTTグループ各社のグレード賃金・成果手当一人平均1万2000円とする回答に抗議し、翌13日、全国6事業所で始業時から1時間のストライキを決行。各地で宣伝・集会を行い、東京・大手町のNTT持株会社前でストライキ支援集会を開きました。



NTT持株会社前で行われたストライキ支援集会には全労連、JMITU 東京地本、千代田区労連、郵政ユニオン、JHU、西南コーラス、電通うたごえのみなさんなど約80人が結集しました。

主催者を代表してJMITU 三木陵一委員長、通信産業本部宇佐美俊一委員長があいさつし、全労連 黒澤幸一事務局長、JHU (JAL被解雇者労働組合) 近村一也パイロット争議団団長、大岡義久 IBM 支部長から激励のあいさつを受け、冨田啓二東京支部書記長が決意表明を行いました。

北海道支部



旭川10条ビル・市外ビルに94枚配布（スト当日ビラ）、4名参加（旭労連支援者2名・鎌倉さん・岩本）。受け取りは良好でした。ビラを受け取った後に、「がっかりした。もう少し粘れよ」と言っていた方がいました。

前日には札幌北ビルに199枚配布（全労連ビラ・アンケート結果ビラ・事前ビラ）、2名参加（佐藤さん・岩本）。受け取りは大変良好でした

神奈川県支部



川崎ビル前で組合員・OB3人で、ノボリを立て、「生活改善を実感できる大幅賃上げの実現を」の横断幕をかかげて宣伝しました。

通勤者からは手を振ったり、「久しぶり、がんばってね」と声をかけたりなどの励ましがありました。

静岡支部



静岡電電ビル前で8時過ぎからストライキ支援集会を開催しました。組合員2名、OB2名、支援者2団体3名の合計7名で門前ビラ120枚を配布。集会では、菊池静岡県評議長、松川静岡地区労連議長が連帯の挨拶をしました。榊原静岡支部委員長が「NTT労組が妥結した1万2千円では、物価高騰のもとNTT労働者の生活改善が実感できるような回答ではない。NTTグループ各社は大幅賃上げを直ちに実施すべきだ。通信労組に入って大幅賃上げを勝ち取ろう」と訴えました。

愛知支部



前日の雨がみごとに止んだ三の丸ビル前、「ストライキ決行中」の赤の横断幕、中央本部作成の緑の横断幕、そして「通信労組」の黄色の旗と、カラフルな色どりが、通勤してくる労働者を迎えます。ストライキ集会には17人が参加し、JMITU愛知地本など5団体から激励メッセージを受けました。

日々の買い物の中で物価高騰を目の当たりにして、前日のわずか700円の会社回答に怒り心頭。12万円の生活援助一時金にもゼロ回答。職場アンケートに寄せられた労働者の声も読み上げ、最後まで頑張る決意を訴えました。

大阪支部



朝7時30分からNTT西日本本社前（京橋ビル）で宣伝とストライキ突入支援集会を組合員、支援者ら16名の参加で行いました。集会では大阪労連菅義人副議長、JMITU大阪地本難波信章元委員長から連帯のあいさつ。通信産業本部岡本宗和書記長から各社の交渉経過報告が行われました。最後に大阪支部中村博之委員長は「物価高騰が続く中、生活改善を実感できるすべての労働者の大幅賃上げを勝ち取ろう」と訴え、集会決議を全員で確認。本社ビルに向け怒りをこめ力強く全員でシュプレヒコールを行いました。

兵庫支部



兵庫支部ストライキ行動は新神戸ビル前で、ビラ配布と宣伝行動を実施。支部委員長あいさつの後、JMITU兵庫地本や兵庫労連など9つの支援団体から連帯のあいさつを受けました。通勤のNTT労働者に「満額回答ですか」と聞くと「満額回答と違います。通信労組さん、もっと言って下さい」と反対に励まされました。

9時から、組合員・OB支援者ら21人が参加し「春闘ストライキ集会決議」の採択と「シュプレヒコール」を行いました。同時に8時から神戸中央ビルでのビラ配布も行いました。

四国支部



四国支部は朝8時前から9時まで、香川支店ビル門前にてストライキ行動を展開。「生活改善を実感できる大幅賃上げ」を求め、スト決起の号外チラシを配布しながら、通勤してくる労働者と連帯しました。香川県労連の藤沢義輝事務局長は、「一人の

労働者が立ち上がり、時給200円の賃上げを勝ち取った」経緯や地域医療の現場などでも共同のたたかいが広がっていると報告。仙波秋夫委員長は、「職場労働者が納得できる回答を引き出すために本日始業時からストライキに決起した」と訴えました。

